

平成25年11月定例会 経済委員会（事前）

平成25年11月26日（火）

〔委員会の概要 農林水産部関係〕

森田委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（14時02分）

これより、農林水産部関係の調査を行います。

農林水産部関係の11月定例会提出予定議案はありませんが、この際、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【報告事項】

- 徳島県農業版業務継続計画（農業版BCP）の改訂について（資料①②③）
- ゆるキャラグランプリ2013の結果について

吉田農林水産部長

この際、2点、御報告させていただきます。

まず、1点目でございますが、徳島県農業版業務継続計画（農業版BCP）の改訂についてでございます。

お手元にお配りしております資料1を御覧いただきたいと思います。

南海トラフ巨大地震の津波への備えといたしまして、被害が想定されております農地等の速やかな復旧と、その後の円滑な営農再開に向けまして、農業分野での体制を構築するために、去る6月7日に、都道府県レベルでは全国初めてとなります農業版BCPを策定いたしましたところでございます。

この度、先般の6月議会での御議論や策定後の農林水産総合技術支援センターでの実証試験結果、そして東部、南部の沿岸地域ごとの対策協議会におけます意見等を盛り込み、昨日11月25日に改訂いたしました。

資料中ほどの「3主な改訂のポイント」を御覧いただきたいと思います。この中では、本県の農業版BCPは、県BCP本体の部分と別冊となっておりますマニュアル集の2部構成といたしております。

主な改訂内容といたしましては、県及び関係団体が対応すべき取組みをまとめた本体のほうでは、事前対策といたしまして、地籍調査の推進に関する項目の追加などを行っております。また、関係団体のBCPとの関連におきまして、被災時におけますJAが所有する施設の活用推進を追加しております。また、農業者の方々に御活用いただきます「津波・塩害からの営農再開マニュアル」におきましては、海水に浸かった農地の作物別の除塩目標といたしまして、なると金時等の品目の追加、現場で簡易に土壤の塩分濃度を分析する手法の解説などを追加いたしております。

「4今後の推進方策」といたしましては、現場での実地訓練によります体制・機能の検証や宮城県へ派遣しております本県職員の意見を反映するとともに、市町村や農業団体と

の連携を深めながら、進化する農業版BCPといたしまして内容の充実を今後とも図ってまいりたいと考えているところでございます。

2点目でございますが、これは資料の御用意をさせていただいておりませんけれども、ゆるキャラグランプリ2013についてでございます。

これにつきましては、当委員会でも御論議いただいたところでありまして、この度、去る11月24日に投票結果が発表されまして、応募数1,580キャラクターの中で、すだちくんは約30万票を獲得いたしまして、第12位となったところであります。経済委員の皆様方をはじめ、応援いただいた皆様方に、心から感謝を申し上げます。

本県でのこのような取組みが、全国放送をはじめ、数々のメディアで紹介されるなど、すだちくんと本県を大いに発信することができ、一つの成果となったと考えております。

さらに、ゆるキャラグランプリ実行委員会によりまして、今回のグランプリの顔として活躍いたしましたキャラクター14体をプリントした「ゆるキャラグランプリ2013・記念Tシャツ」がここにあります。このTシャツの中に、すだちくんもプリントされるなど、今後、すだちくんの知名度の向上に繋がるものと期待いたしておるところであります。

今回の結果を大きな弾みといたしまして、更に積極的なすだちくんの全国プロモーションを展開し、本県のイメージアップや経済活性化に繋げてまいりたいと考えております。

報告事項は、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

森田委員長

以上で、報告は終わりました。

これより、質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

西沢委員

すだちくん12位おめでとございます。思うんですけれども、すだちくんが誕生して二十歳になったんですかね。二十歳になったら、人間だと彼女もできて、もうちょっとしたら子供もできるという状態になっていると思うんですけれども、やっぱり、すだちくんだけでは、ちょっと展開が広がっていかないというか、そこら辺り、成長に合わせた、さっき言うたように、彼女ができたり、子供ができたりと、色んな展開があると思うんですよ。そういう新たな展開も考えてほしいなと思うんですけれども、ちょっとそこだけ。

丸谷もうかるブランド推進課長

すだちくんの魅力アップに関する御提言をいただいております。すだちくんにつきましては、平成5年の東四国国体でのデビューでございまして、今年で20年目ということでございます。その間、やはり20年間県民に愛され続けて、すだちくんのイメージというものは、やはり昨今のここ2、3年で作られたものではなくて、県民の皆さんに育てられたと、

そういうイメージがあると考えております。

そうした中で、すだちくんが全国に出て行ってプロモーションする際に、どういう魅力付けを行えば良いかということにつきましては、直ちに我々、テーマソングの作成でありますとか、ダンスの制作に取りかかっております。今後、全国展開をする上で、どういう魅力付けが良いかということにつきましては、先ほど、委員がおっしゃられましたようなことも含めまして、色々と考えまして、すだちくんのイメージを崩さずに、なおかつ魅力がアップするようなキャラクター設定といえますか、活動を考えていきたいと考えております。

西沢委員

できたら、もし、次の大会があったら1番になるように、何か次の施策をよろしく頼みます。

それと、ちょっともう1つお聞きしたいんですけども、農業版BCPは別冊マニュアルでは、なると金時、レンコン、水稻、ラッキョウとなっており、ラッキョウ等とはなっておりませんけれども、これだけですか。塩害対策は、その後もどんどんやっていくのでしょうか。

宮本農林水産総合技術支援センター経営推進課長

塩素濃度の基準といえますか、目標についてのお尋ねでございます。沿岸部にあります主要な品目について、順次やっております。現在考えておりますのは、これ以外に洋ニンジン、それから渭東のネギ、これについて実施していこうと思っております。これからも、順次、行っていこうと思っております。

長尾委員

今、西沢委員からも話があった件ですが、すだちくんについて12位と。前の委員会の時は、22位とか23位だったけれども12位ということで、47都道府県の力量からすれば、まあまあの結果だったかなと、関係者の御努力に敬意を表するところです。ただ、石井町のふじっこちゃんとかは、県レベルの組織がないのによく頑張っているなと私は思うんですけども、それで今、西沢委員から次の話があったけれども、今日の新聞報道では、次のゆるキャラグランプリに出るのかどうかということ濁したような発言だったけれども、次は出るのかどうか、お聞きをしたいと思えます。

丸谷もうかるブランド推進課長

非常に難しい御質問でございます。今回、ゆるキャラグランプリ2013に参戦するに当たりまして、私どもといたしましては、徳島県の宝であるすだちくんを何とか全国的にメジャーデビューさせたいという思いでございました。そうしたことで、選挙活動、ピーアール活動を行った結果、皆さんに御支持いただきまして、12位と健闘したというふうに考えております。

次回につきましては、すだちくんの今後の全国プロモーションをどうやっていくか、全国的にすだちくンをどうピーアールしていくか、あるいは徳島県をどうピーアールしていくかという中で、今回の結果も踏まえて検討してまいりたいと考えております。よろしくをお願いします。

長尾委員

今の西沢委員の発言だと、次も当然出るんだろうというようなイメージで、県民の皆さんもそう思っているわけだけれども、その逡巡する理由というのがよく分からない。次も出て、順位が下がって嫌な思いをしないように予防線を張っているのかなと思ったりもするんだけど、そんなことではどうしようもないなという気がするんで、私はやはり粘り強くやるべきだと思っておりますので、基本的には挑戦すべきだという意見を申し上げておきたいと思います。

それから、今日、議会がこのように開催が遅くなった理由は、議会の軽視だということで、先ほど、会長・幹事長会で知事に議長から申し入れをするということになったんだけど、今の御報告の中で、歌ができましたという話あるけれども、議会に対して、どんな歌ができたのかという報告もない中で、歌ができましたという報告はあったけれども、どんな歌なんですか。あなたに歌ってもらいたい。

丸谷もうかるブランド推進課長

メロディーを付けるのは少し難しいので、このテーマソングにつきましては、すだちくんの全国的なと言いますか、すだちくんの魅力をアップするために、歌詞を全国公募いたしまして、それで、全国から寄せられた歌詞の中から、「進め！すだちくん」という歌詞を採択いたしました。若干申し上げますと、「みんなを元気にしてくれる まるい笑顔のさわやかさ ビタミンたっぷり豊かな香り おいしいヘルシーたのもしい 進め！進め！進め！すだちくん しぼられたって夢がある 進め！進め！進め！すだちくん しあわせいっぱい届けよう」という歌詞でございまして、徳島県の特産のスタチのイメージと言いますか、スタチの説明から入って、最後はすだちくんの応援になるという歌詞でございします。

長尾委員

そういうペーパーとか資料を何でここへ出さないの。こういったことも含めて、議会に丁寧な報告が欠けているということを指摘させてもらいたい。そうしたら、ホームページからダウンロードできるのでしてくれということかもしれないけれども、ホームページでダウンロードできる県民は果たして何人いるのかといったときに、それはごく限られた人だと私は思います。

だから、今日、せっかく議会軽視ということが出ましたので、敢えて御注意しておきますが、本当に丁寧にするというのであれば、すだちくんは今も言ったようにもう20歳で、今回の選挙はまさに選挙だと位置付けして、出陣式までして、選対会議までやって、鳴り

物入りでやって、それにしちゃ来年どうするか分かりませんと。かつ、いや盛り上げていくからすだちくんの歌を作りました。どんな歌作ったのかと、今、言われたような歌詞をここへ出して、部長からちゃんと説明してもしかるべきだと思うけれども、そういったこともない。こういったこと1つ1つを理事者側だけで説明して納得するというんじゃないで、県民の代表である議会、委員に対してきちっと報告すべきだと思いますが、部長どうですか。

吉田農林水産部長

御指摘のように、今回のグランプリに当たりまして、議員各位に大変な御協力をいただき、応援もいただいたというところがございます。その中で、非常に様々な展開をいたしております。歌もしかりでございますが、予算も付けていただいて、キャラクターも追加するといったこともさせていただきました。これから折に触れ、重要な案件につきまして、議員各位に対しまして懇切丁寧な御説明等も心掛けてまいりたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

長尾委員

私も本当に毎回面倒くさかったけれども、1回1回投票して、そういう県民も多くいると思うんです。そういったことに対しても、丁寧な御礼と議会での報告をきちっと今後はすべきだと思うので、重ねて注意しておきます。

有持委員

本来なら、付託委員会で言うべきことかも知れませんが、今朝の新聞にも載っていたように、転作資金も5年後には打ち切るということで、非常に農家に対して、政府はかなり厳しい状況でございます。TPPの交渉も進んでおりますけれども、国では攻めの農業を進めるという声でやられております。そういうことで、農業の大型化を図って、素晴らしい農家を養成するという意気込みでやられているのは分かるんですけども、農業ができないところの農地を集積化すると言いますけれども、今現在、農業をしている人が土地を買って、集めてするということは非常に難しいんじゃないかと思っております。

と言いますと、企業とか、それに準ずるお金を持った人が農地を買いあさって、農業をするという名目で農地を集められるということも懸念もされるわけでございます。特に、徳島県のような高齢化、そして零細な農地と、徳島県では小松島市とか阿南市のように土地の基盤整備ができているところもありますけれども、徳島県はほとんどが基盤整備のできていない零細な農地が非常に多いわけです。そして、高齢化もしておりますので、機械が壊れたら農業を辞めようかという農家の声が、今はどこへ行っても聞かれるわけでございます。そして、米も今年は去年より1,000円以上下がって、非常に厳しいということもあって、もう来年から米はどうしようかなという人が非常に増えております。

そこで、県にいたしましては、このような農業を将来的に、これは20年も30年も先というのは分かりませんが、5年先、10年先に向け、どのような対策をとっていくのか、

国の方針は、農業を大型化して、小さいところは、言うたら切り捨てというふうな感じであるのは分かるんですけども、そうなりますと、小規模な農家は皆が辞めて、ほとんどが荒廢地に、おそらく半月も放っておいたら草ぼうぼうになりますので、それを県として、どのように対応なさるのか。農機具等については、組合等を作れば、最初は農機具の補助金も出しておりますけれども、2回目はまず難しいということにもなっております。

そういうことも含めて、これから小規模な農家をどのように守る、守るということではできないと思うんですけども、小規模な農家を支えていただいて、農地の保全するということについて、県として、どのように考えておられるのか、御所見をお伺いしたいと思います。

井上農林水産政策課長

小規模農家とかを、いかにして守っていくかというような御質問でございますが、委員のお話のとおり、高齢化して後継者がいないとか、作業や農地の受け手がないといったような担い手不足とか、耕作放棄地の増加が懸念されるような地域が多数ございます。

県では、そういった地域におきまして、集落営農組織を地域農業の担い手と位置付けまして、育成に取り組んでいるところでございます。集落営農組織は、農作業受託組織や営農組織などを集落の担い手として位置付け、集落で話し合い、力を合わせることによって、担い手不足や耕作放棄地など、多くの問題を解決しようとするものでございます。

そういったところに対する補助制度等といたしましては、県単独の補助事業といたしまして、「とくしま明日の農林水産業づくり事業」によりまして、地域の営農を維持発展するために必要な農業用の機械施設の導入を支援しているところでございます。一定の条件で、稲作等の農機具等についての補助等も行っているところでございます。

委員からお話のありました零細で経営規模の小さい農業者に対する支援策と申しますか、対策について、どのように進めていくかとの御質問でございますが、生産基盤の弱い高齢者や女性などの小規模農業者は、地域農業を支える非常に重要で貴重な担い手でございます。農地や地域経済を維持していく上で、大切な役割を担っていると認識しております。こうしたことから、小規模農業者の経営安定を図るため、自らの作業能力や農地の状況に合わせて、無理なく生産、出荷できる産直市の充実、活性化を図るとともに、学校給食への供給拡大など、地産地消の取組みなどを強化して、小規模農業者がやりがいの持てる生き活きとした農林水産業の実現につなげていきたいと考えております。

有持委員

県としても、そういうふうに対処していただいているのは分かるんですけども、現実には、今年のお米にしても、機械が壊れたらもうできないということで、この頃は農機具屋さんが若い人を雇って、営農活動をしている。私のほうの地域では、農機具屋さんが頼まれて、コンバインもあるし、乾燥機もありますし、もみすり機もあるから、作業委託という形で農機具屋さんが今どんどんやっているんです。それで当面やっていくということなんですけれども、そうやりますと非常に高いわけです。お米にしたら、刈っていただい

ただで5万円いるんですよ。田植えから何からしたら、約7, 8万円では済まず、10万円近くいるんです。そして今、5,000円から6,000円の米で、20俵採ったって5,000円で10万円しかない。そうしたら、用水費とか肥料費とか、請け負いでしていただけるだけの経費しか出ないので、本当に完全な赤字なんです。そうすると、結局は皆が農業を辞めようかという声がお年寄りからもかなり聞こえて出たんです。

このことについて、確かに若い人で営農意欲のある人が、県も指導してやっていただけるというのであれば、まだまだ将来性はあるかなと思うんですけれども、現実には、農協が請け負いや、そういうのにどんどんと力を入れてやるんだったら、まだ分かるんですけれども、農機具屋さんがあるような請け負いをしなかったら、地域の米作が成り立っていけないような状況なんです。

これは根本的に、県としても徳島県の米作というのを考えていかなかったら、非常に厳しい。もうここ2, 3年で、おそらく荒廃地は今の何倍にもなる可能性が高いと思います。ですから、早く対策をとることが先決ではないのかと思いますので、今日の事前委員会から始まって、この議会中、日本の農業、徳島県の農業は、特に厳しいのではないかと思いますので、対応をお願いしたいと思っております。

それと、先日も農家の人からの要望を受けたんですけれども、色んな状況で、このまま農業を続けていくというのは厳しいけれども、何とかやりたいという気持ちは、農家にはあると思いますので、今後とも、お米についても品種改良、徳島県に合ったお米を作っていくとか、また、徳島県に応じた農業形態を考えていくとかということを進めていただいて、非常に厳しい中ではございますけれども、徳島県の農業を守るために、農林水産部のほうも力を入れていただきますことを、今日は事前委員会でございますので、お願いしておきたいと思っております。よろしくお願いたします。

笠井副委員長

すだちくんの関連で1, 2点お聞きしたいと思っております。先ほど、12位になったということで、本当に喜ばしいことであるし、また、皆さんの努力も認めたいと思うんですけれども、ちなみに1位はどこで、どのくらいの開きがあったのかということをお教えいただけたらと思っております。

丸谷もうかるブランド推進課長

この度のゆるキャラグランプリ2013の第1位は、栃木県「さのまる」でございます。得票総数が120万4,255票ということでございます。すだちくんとは約90万票の差がございます。

笠井副委員長

これは、努力しなかったら1番は難しいなと今も思いましたけれども、先ほど、歌まで作られているということで、私も歌詞は初めて聞いたんですけれども、これは歌を作っただけで終わるんですか。それとも、どういうふうに、これから展開をしようとしているん

ですか。

丸谷もうかるブランド推進課長

歌詞を全国公募し、「進め！すだちくん」を選定いたしました。作曲につきましては、県御出身の作曲家、住友紀人さんに作曲を御依頼いたしまして、先頃、曲が完成し、ホームページ等でダウンロードできるようにいたしております。その後でございますけれども、この曲にダンスを振り付けしまして、すだちくんがそのダンスを踊るということで展開したいと思います。それで、すだちくんの踊る姿、あるいはバックダンサーを付けまして、ビデオに撮りまして、それをユーチューブに流すとか、あるいは、新鮮なっ！とくしま号での展開、観光キャンペーンでの展開で、本県をピーアールするため、そういうパフォーマンスをするというような展開を考えております。

笠井副委員長

非常に良いことだと思いますので、子供たちが踊れるような振り付けとか、あるいは婦人会の皆さんが楽しく踊れるような振り付けができれば良いなと思っております。

それから、部長をはじめ、非常にカラオケが好きな方もおられるようなので、ぜひ、二次会に行きましたら、この歌が歌えるように、カラオケ会社にのれるように、CDになって、あそこから出てくるように努力して、そうすれば、また県外へ行ったときに、それを歌うと「カラオケにもこんながあるんか」ということになって、広まろうかと思っておりますので、今後も色々な方法でこの歌を、あるいは、すだちくんのピーアールを続けていただけたらなと思っております。

森田委員長

他に質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、農林水産部関係の調査を終わります。（14時31分）